

Chapter 1 見たい部位別直視のポジショニング例

- 1-1 上顎前歯部唇側を直視するポジショニング
- 1-2 上顎前歯部口蓋側を直視するポジショニング
- 1-3 下顎前歯部唇側を直視するポジショニング
- 1-4 下顎前歯部舌側を直視するポジショニング
- 1-5 上顎臼歯部を直視するポジショニング
- 1-6 下顎臼歯部を直視するポジショニング

Chapter 2 スムースなアシスタントワーク

- 2-1 術者の視野の確保
- 2-2 器具の受け渡し

Chapter 3 捅えておきたい器具

- 3-1 捅えておきたいミラー
- 3-2 外科処置時に有効な器具

Chapter 4 初心者向け シチュエーション別マイクロスコープ上達ヒント

- 4-1 歯周基本治療を通じてマイクロスコープの特性を理解する
- 4-2 う蝕処置や支台歯形成が上達するヒント
- 4-3 根管治療が上達するヒント
- 4-4 外科処置が上達するヒント

Chapter 5 マイクロスコープに慣れる練習法

- 5-1 拡大明視野に慣れる練習
- 5-2 マネキンを使った練習

Chapter 6 マイクロスコープを導入&増設する前に 読んでおきたい「伸びるヒント」

- 6-1 はじめてマイクロスコープを購入するなら、どんな機種が最適？
- 6-2 追加購入する際のマイクロスコープ選びの着眼点
- 6-3 顕微鏡歯科医療が増える！戦略的マイクロスコープ増設術

緊急付録！

マイクロスコープ吸引ドレープシステム (Microscope Suctioning Drape System)

注文票

品名	定価	冊数
ミラーに頼らず実践できる！ 直視メインのマイクロスコープ活用テクニック	本体価格 8,000円+税	

ミラーに頼らず実践できる！

直視メインの マイクロスコープ 活用テクニック

The First Step in Microscopic Dentistry

著 長尾 大輔

神奈川歯科大学 特任講師
日本顕微鏡歯科学会 認定医・認定指導医



A4判 124ページ
ISBN 978-4-909066-31-2 C3047
定価(本体価格 8,000円+税)

私に使いこなせる
のだろうか？

難易度高くて、
もうコリゴリ…

そんな不安や挫折を払拭する
顕微鏡歯科医療のノウハウ
があります！

『鏡でしっかり見る』はそのままに、『直視下での範囲を効果的に増やす』ことで、マイクロスコープはもっと臨床応用できるようになります。

本書は、マイクロスコープのセッティング・周辺器材・練習方法・アシスタントワークなど、徹底活用するためのノウハウをトリセツ的にまとめました。

マイクロスコープ初心者はもとより、ワンランクアップを目指す歯科医師に最適な一冊です！

本書の魅力

1

直視と鏡視のコンビネーションでマイクロスコープがグッと使いやすくなります！

顕微鏡歯科医療の基本は鏡視。でも可動域の広いマイクロスコープを使用すれば、直視できる範囲が広くなり、顕微鏡歯科医療がより楽に行いややすくなります。



患者・術者ともに負担のない、直視で臨む際のポジショニングを部位別に解説。

本書の魅力

2

術者の負担を大きく軽減！アシスタントワークにも工夫があります

視野の確保や器具の受け渡しなど、マイクロスコープを使用しているからこそ習得したいノウハウがあります。



安全かつスムーズに顕微鏡歯科医療を実践するアイデア満載！

本書の魅力

3

マイクロスコープに慣れるまでは比較的簡単なことから使い始めよう！

マイクロスコープは歯内療法に限らず日常臨床のさまざまなシチュエーションで活用できます。歯周基本治療からう蝕処置、外科処置に至るまで、段階的にレベルアップするヒントを紹介します。



歯周基本治療は、マイクロスコープの特性把握や器具操作の確認に最適！

本書の魅力

4

高精度な治療を実践したいなら、マイクロスコープに適した器材を揃えよう！

顕微鏡歯科医療を高精度に提供するためには、それに適したさまざまな器材が必要になります。本書では日常臨床でマイクロスコープを活用する上で揃えておくと便利な器材を多数紹介しています。

本書の魅力

5

せっかくなら楽しく練習したい！手軽にできる実践的なアイデア満載！

上達するには練習が必要。でも本音をいうと、練習って面倒ですよね。本書は楽しく練習できるアイデアを多数紹介しています。スタッフとともに Let's Try !



名刺をひっくり返しただけでも、結構ハイレベルな練習ができるんです！

本書の魅力

6

「ひとまず購入しよう」はNG！顕微鏡歯科医療を定着させる戦略もご紹介！

せっかくマイクロスコープを導入する＆増設するならば、術者・患者・スタッフのどちらもが顕微鏡歯科医療の恩恵を受けられるようにしたいものです。筆者が実践してきた、購入したマイクロスコープを徹底的に活用する戦略をご紹介します。